

栗崎地区の震災復旧に関する説明会

本日の内容

1. これまでの説明会における主なご意見
2. 実証実験結果
3. 復旧工事の概要
4. 地籍再調査の状況

令和7年11月15日

① 12:50～ ② 15:00～

金沢市 被災地区復旧推進室

意 見**①実証実験の結果**

- ・ 栗崎小学校内での実証実験の結果を情報提供して欲しい。

②地盤沈下・井戸枯れの心配

- ・ 地盤沈下の恐れは少ないとのことであるが、沈下が発生した場合は対応してもらえるのか。
- ・ 現在利用している井戸に影響はあるか。影響した場合は対応はしてもらえるのか。

③工事スケジュール

- ・ 工事はいつ頃から開始し、完了までは何年かかる見通しか。
- ・ 工事はどのように進めていくのか。

④小学校前の歩道拡幅

- ・ 通学路の安全性を高めるための歩道を拡幅してほしい。

⑤地籍再調査事業の前倒し

- ・ 3年掛かる地籍調査を短縮してほしい。

2. 実証実験の結果

3

※実証実験は、令和7年3月から開始し10月末で終了

○地表面沈下の計測

国のガイダンスでは短期間の限度値は
25 mm以内

- ・ 沈下量は、**5 mm以下**

○模擬家屋の傾斜計測

国のガイダンスでは**6/1000**を超えると
傾斜（不同沈下）を意識する

- ・ 傾斜は、**最大0.7/1000**

**地下水位の低下による地盤への
影響が非常に小さいことを確認**



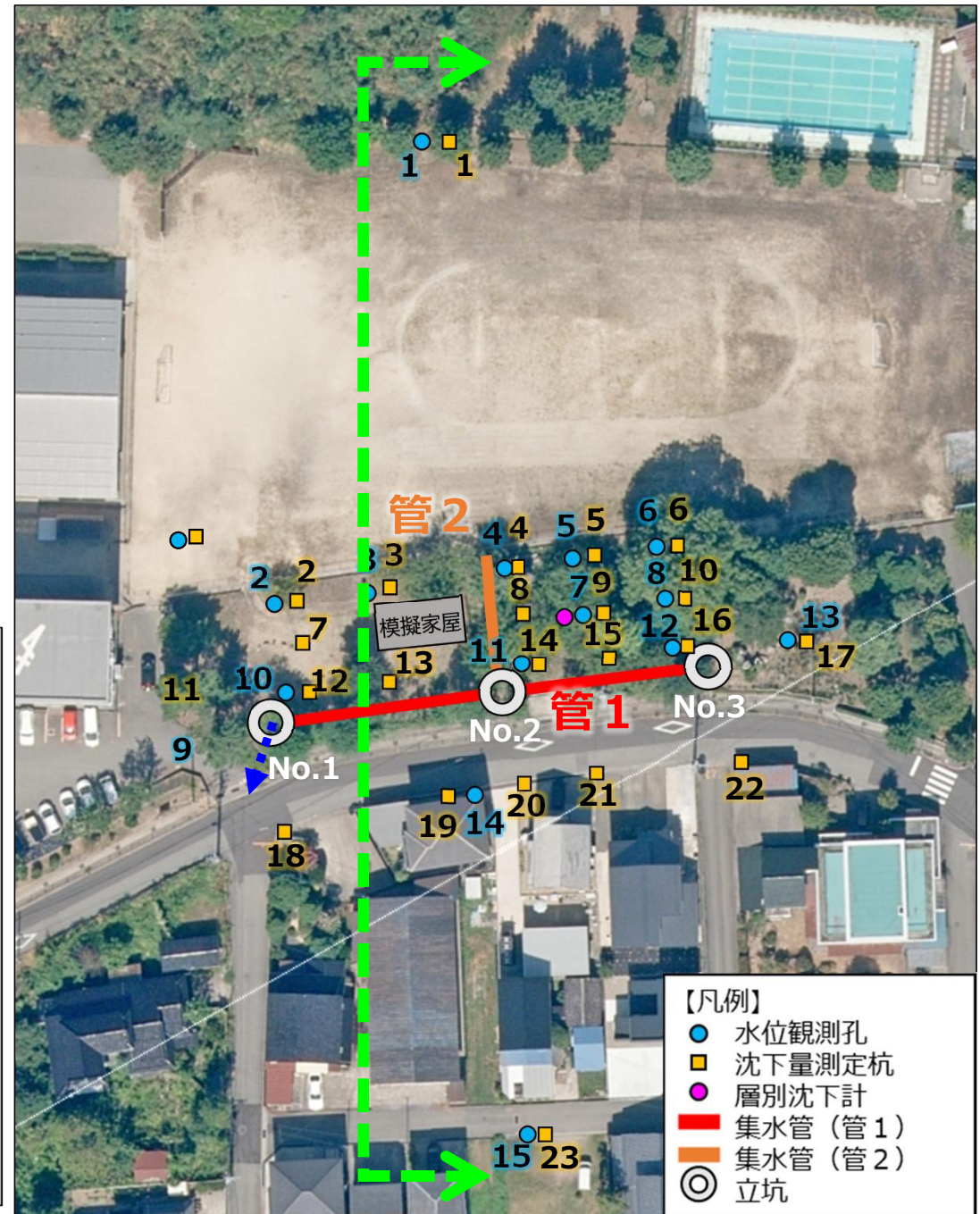
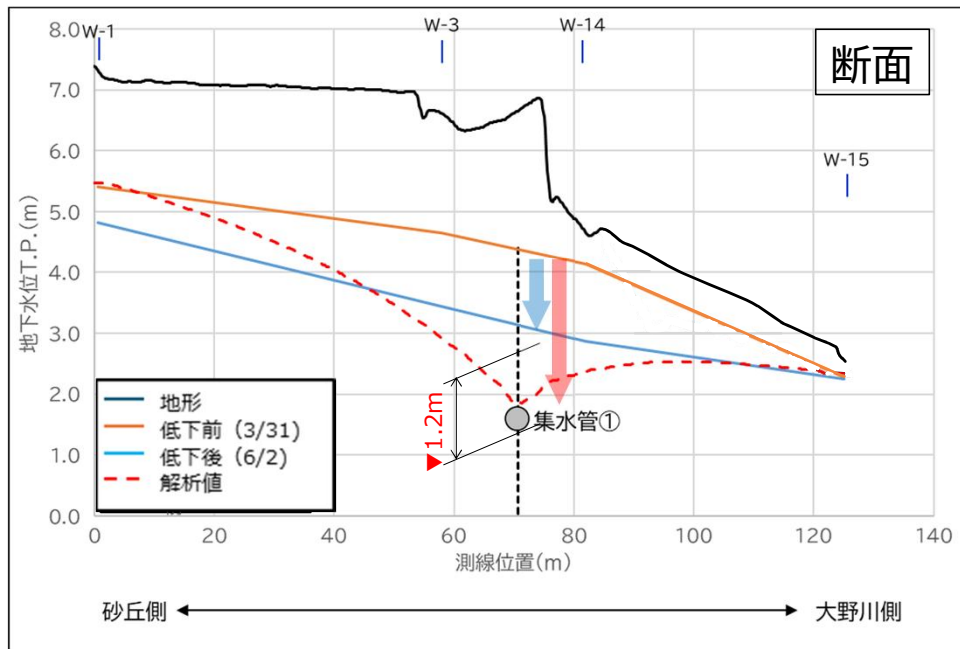
○集水量

集水量は平均250 ℓ /分で解析値と同等
(解析値 : 250~270 ℓ)

○地下水位の計測

実験値は解析値に比べ1m程度高止まり
⇒ 目標地下水位まで低下しなかった

対応策を検討



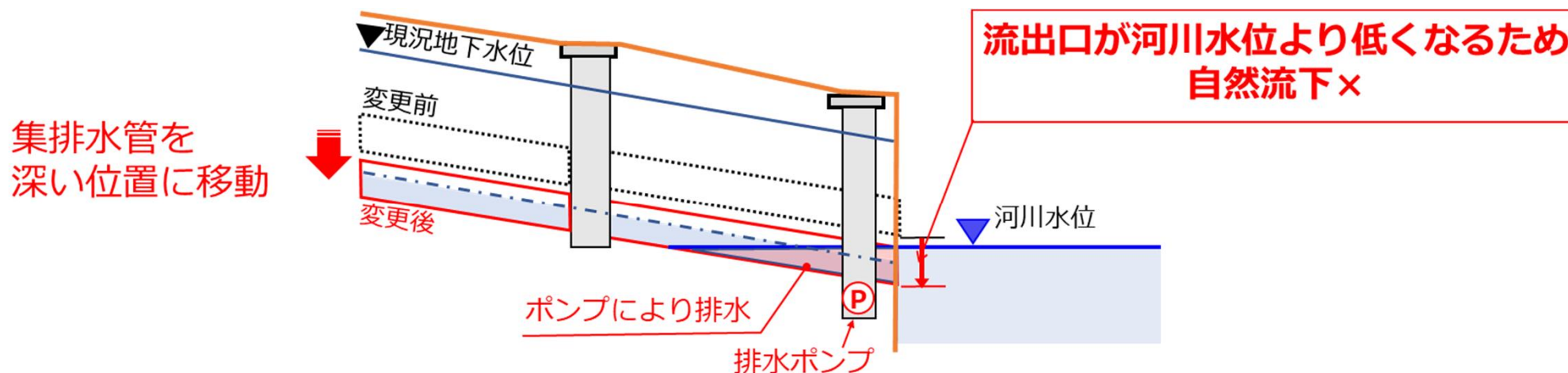
○ 実証実験で目標地下水位まで低下しなかったことへの対応

実験結果を考慮し、**集水管の位置・深さを見直し再解析**

大野川沿いで目標地下水位まで低下しないため、**集排水管を深く設置**



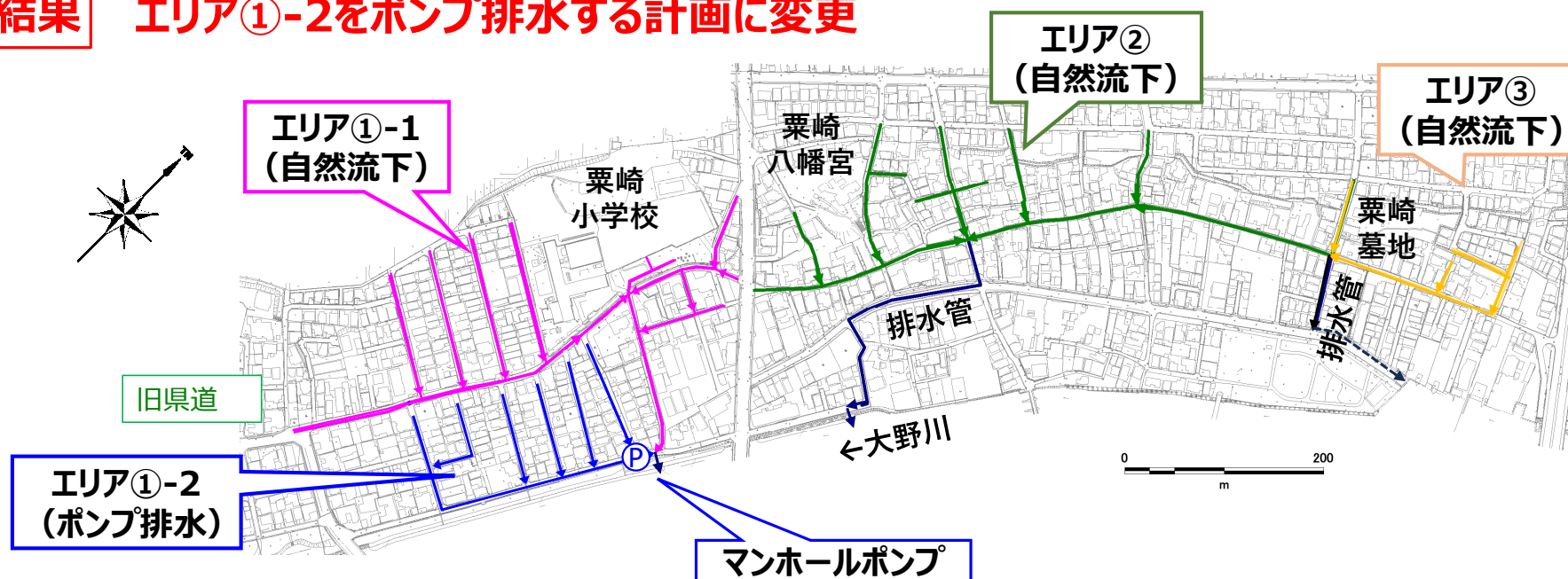
河川水位より集排水管が低くなるため、自然流下ができない
⇒ **一部エリアでポンプ排水が必要**



当初 全エリアを自然流下で想定

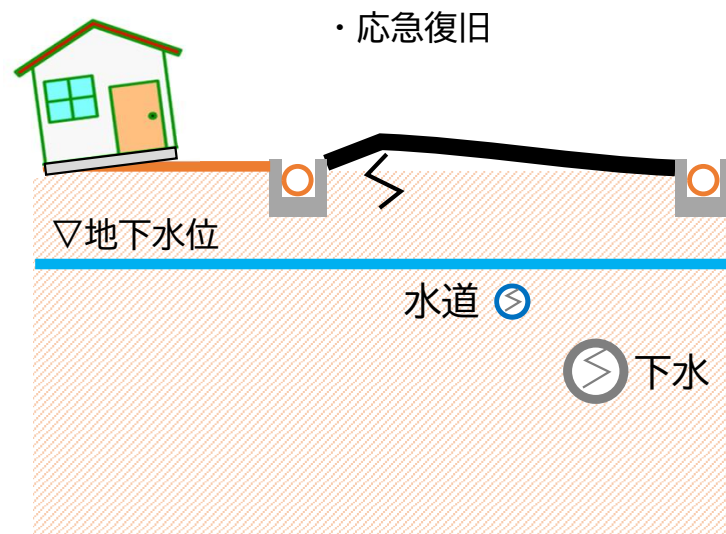


検討結果 エリア①-2をポンプ排水する計画に変更

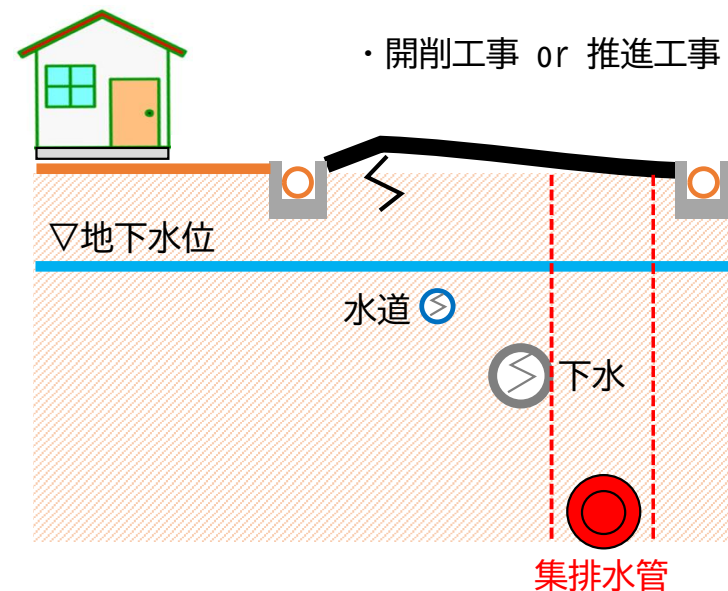


○ 工事の流れ

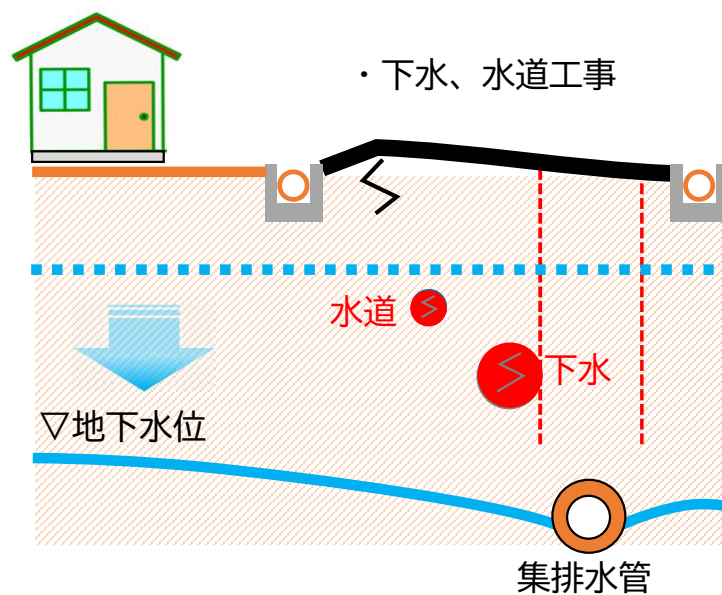
1. 現状



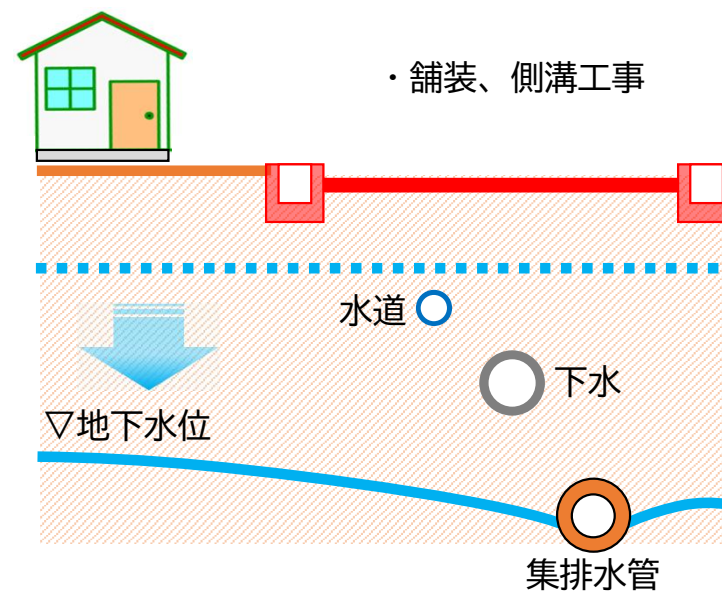
2. 地下水位低下工法（集排水管設置）



3. 下水、水道修繕



4. 道路復旧

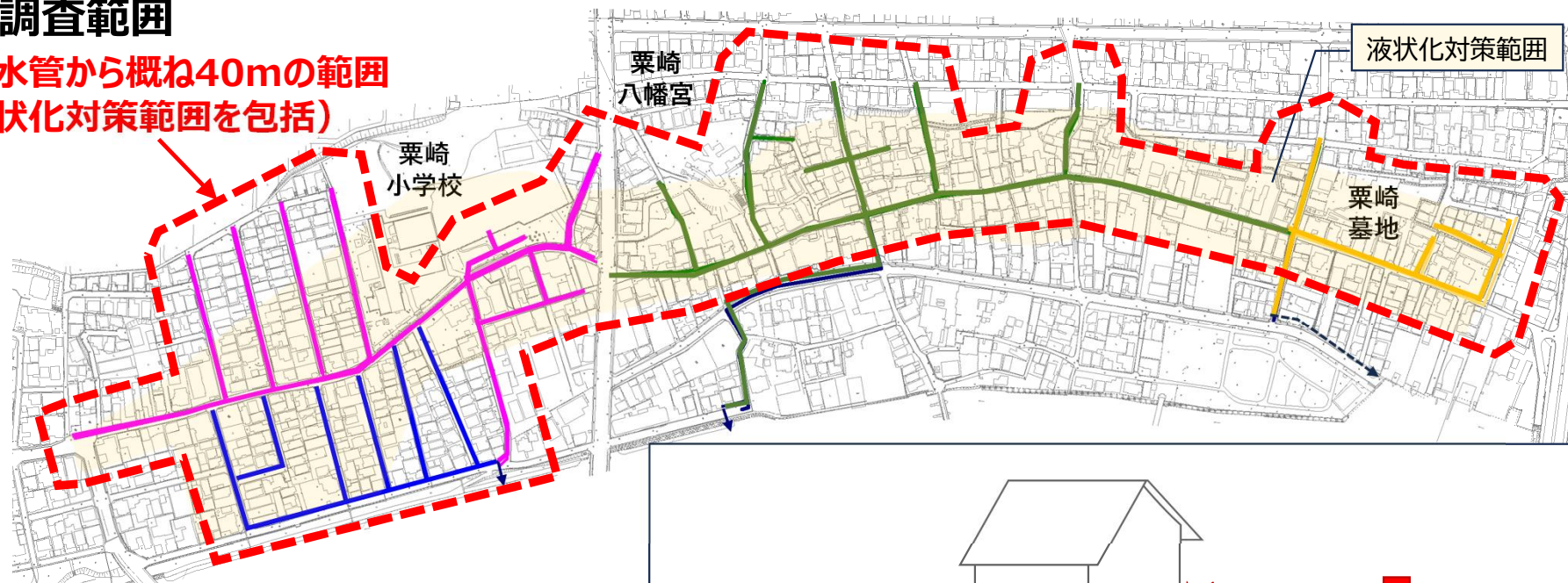


○ 地盤沈下の影響に対する事前調査の実施

実証実験の結果、建物への沈下等の影響が小さいことを確認したが、
対策前後の変化を確認するため、工事前に**敷地・建物外周部の高さ（水準）**を計測。

（1）調査範囲

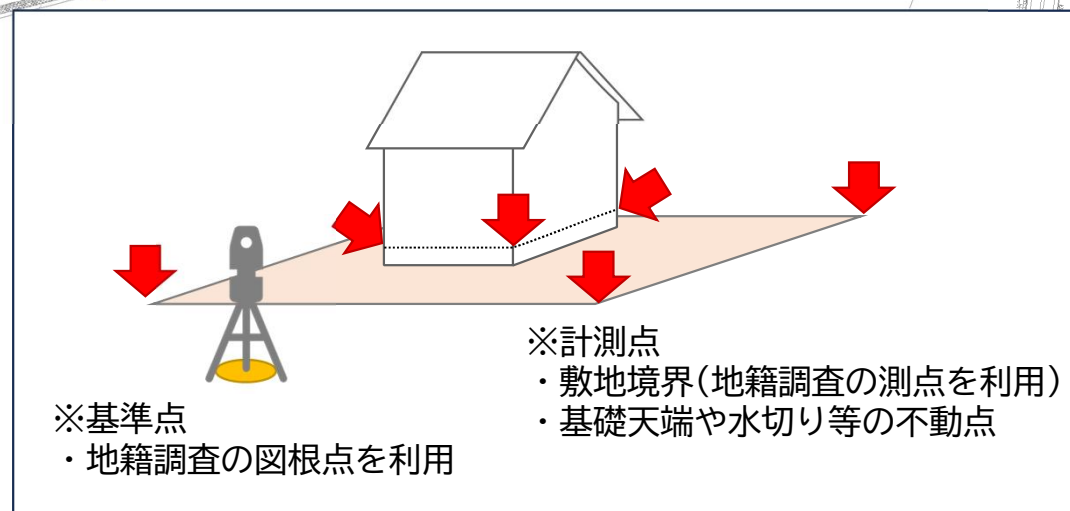
集排水管から概ね40mの範囲
(液状化対策範囲を包括)



（2）調査方法

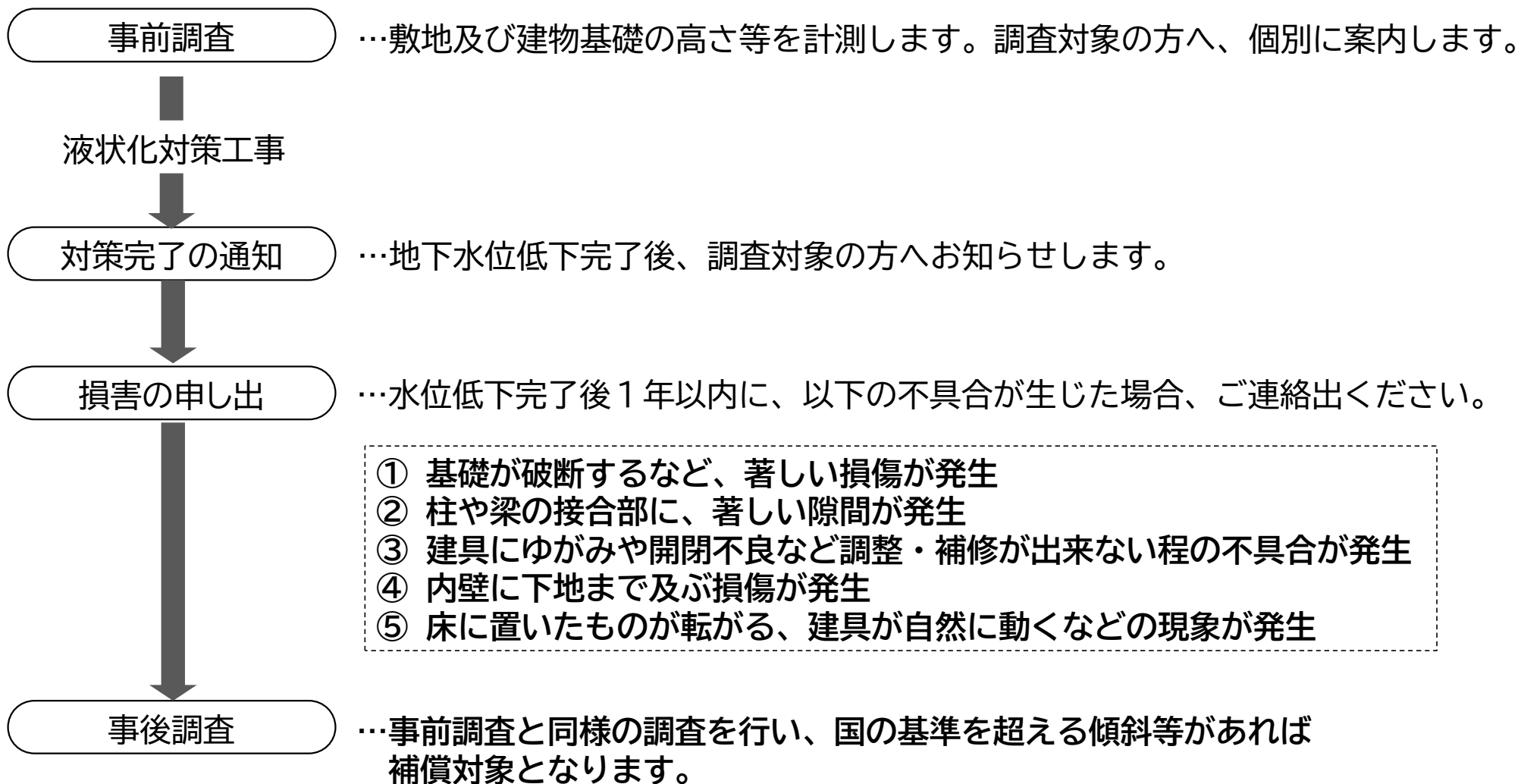
建物：建物基礎等の不動点を計測

敷地：敷地境界の構造物等を計測



⇒対策後、建物等への影響がある場合は、国の基準に基づき対応

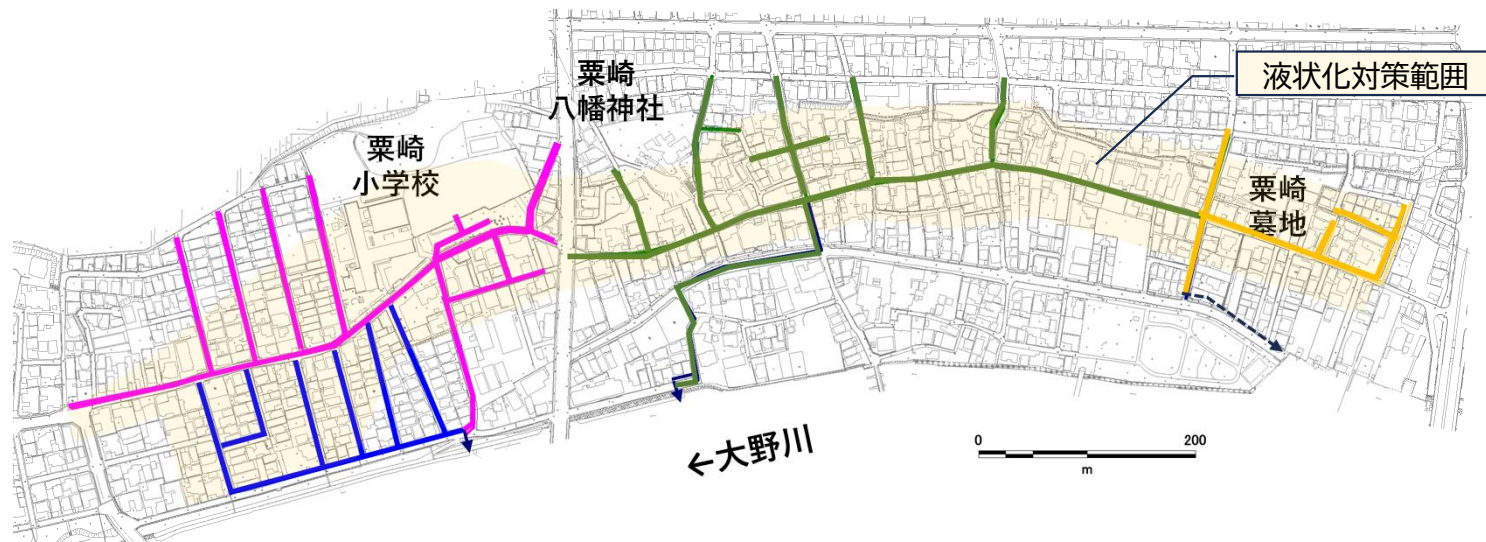
建物への影響がある場合の対応方針



○ 井戸への影響に対する事前調査の実施

対策後、井戸の水量低下を確認できるようにするため、工事前に**井戸の水量を測定**。

(1) 調査対象



栗崎町会、五郎島町会、1丁目町会に実施した井戸利用状況アンケートを基に、市が把握している井戸所有者に調査案内を送付します。
なお、未回答の所有者で調査希望者はご連絡ください。

(2) 調査方法

- ・井戸の利用状況、ポンプ設備等を確認し、井戸の水量を測定

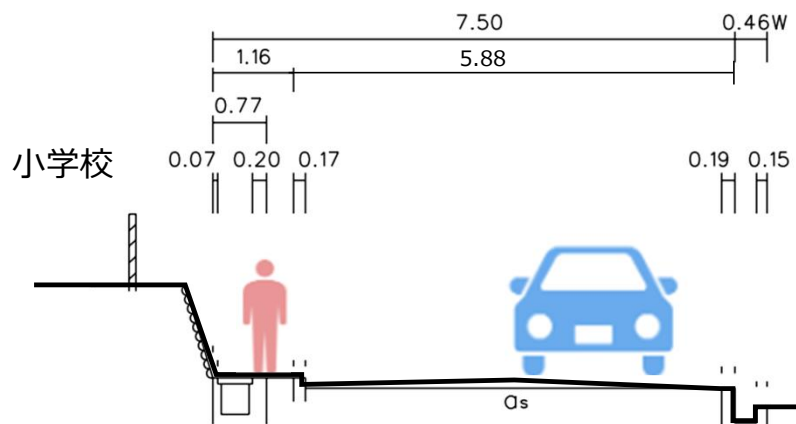
⇒ **対策後の水量が1割以上減少し、井戸の利用に支障がある場合に対応**
(実証実験の結果、揚水量の季節変動が1割程度見られた)

○ 小学校前の歩道拡幅（歩道、車道、隅切り）

歩道幅1.2m → 2.2mに拡幅

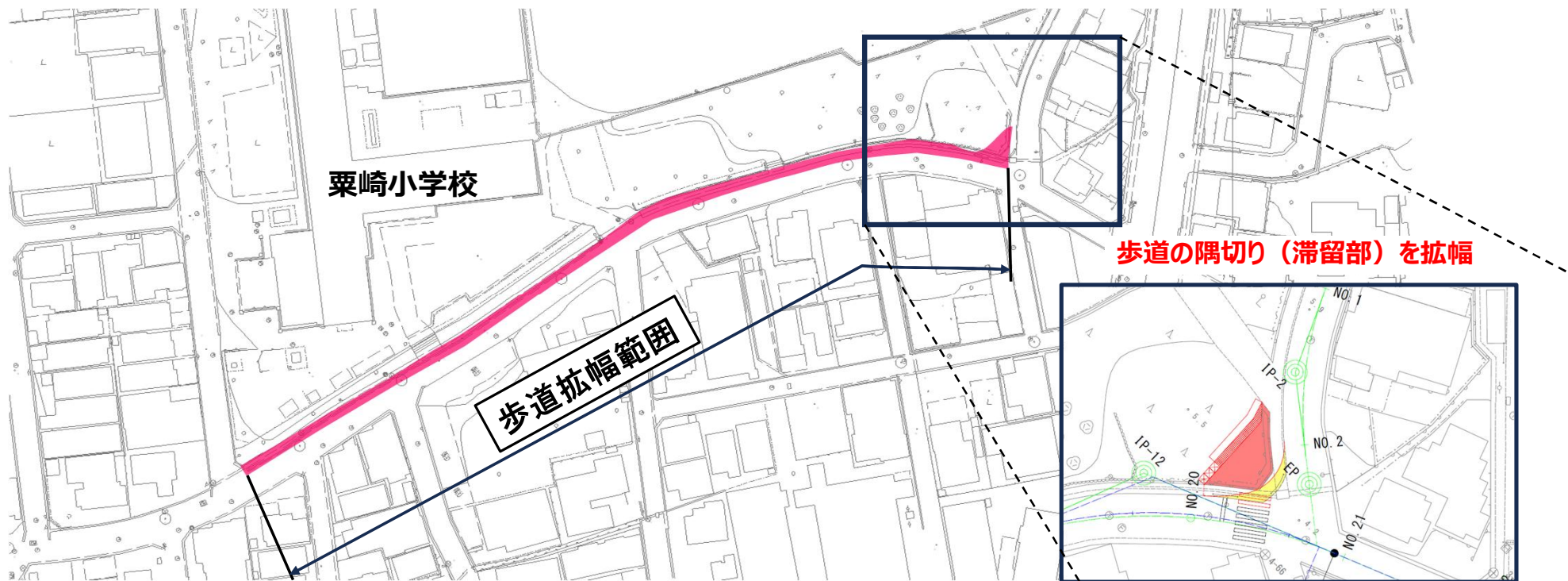
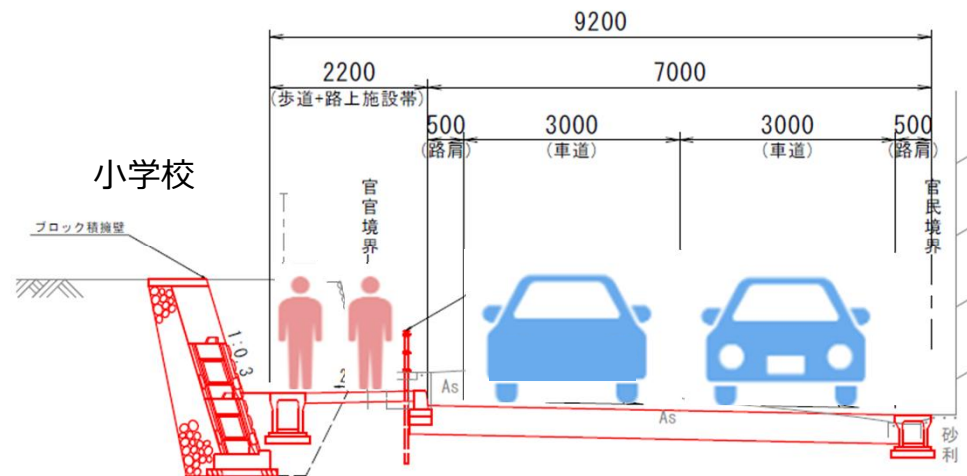
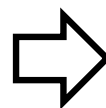
現況

歩道、車道ともに狭い

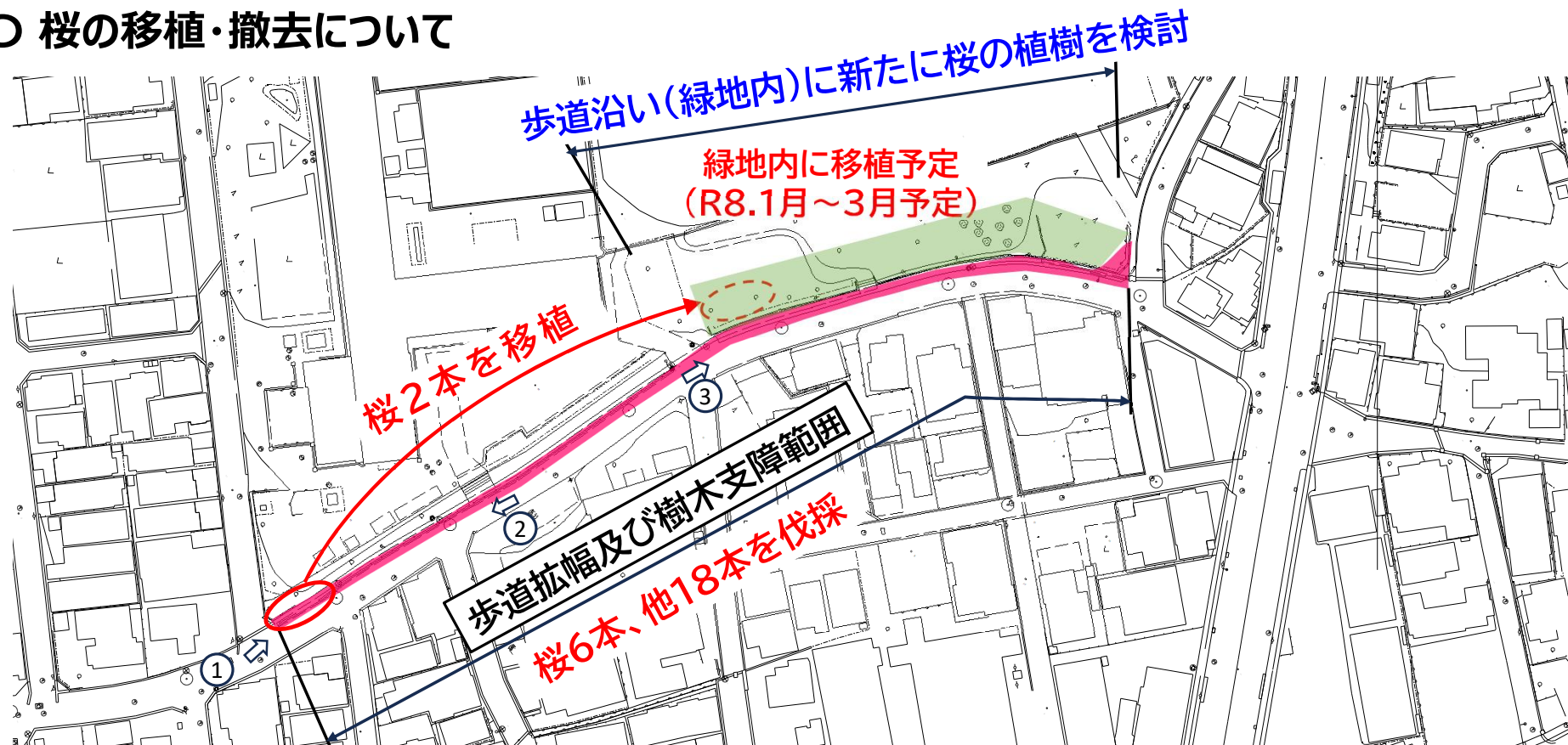


計画案

歩道、車道を安全な幅員に拡幅



○ 桜の移植・撤去について



① 移植可能な桜



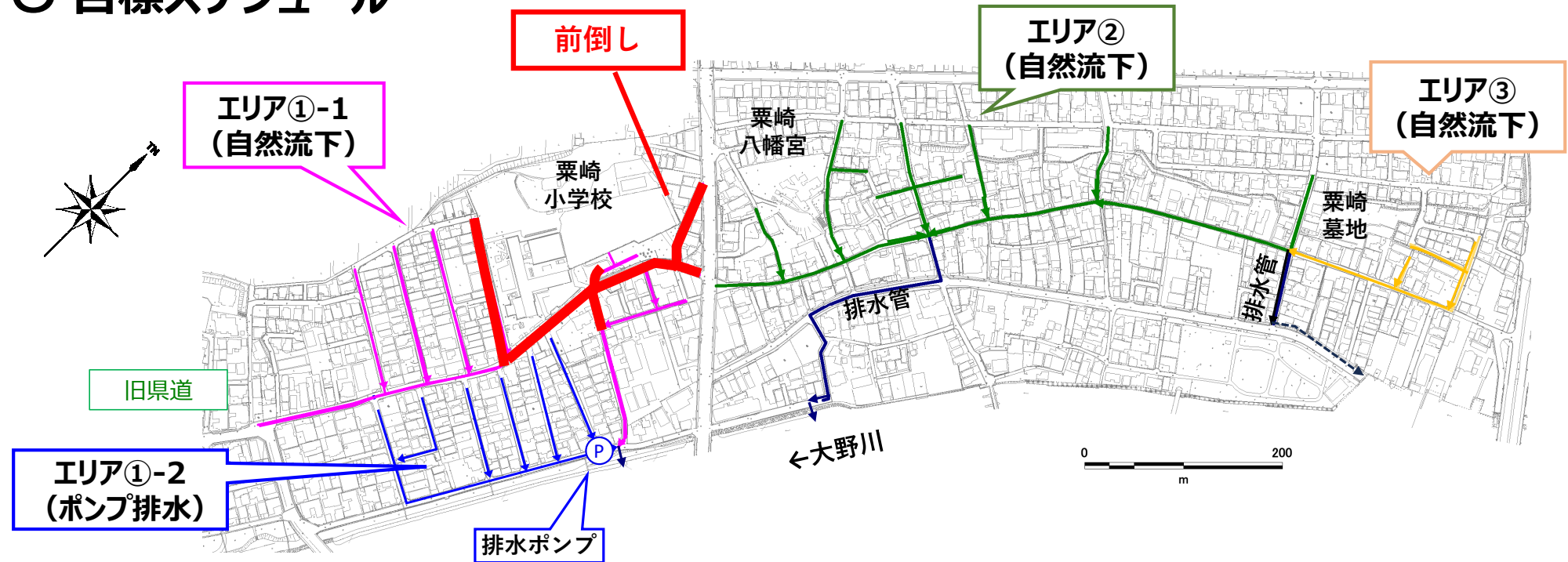
② 校門前_伐採する桜



③ 駐車場入り口_伐採する桜

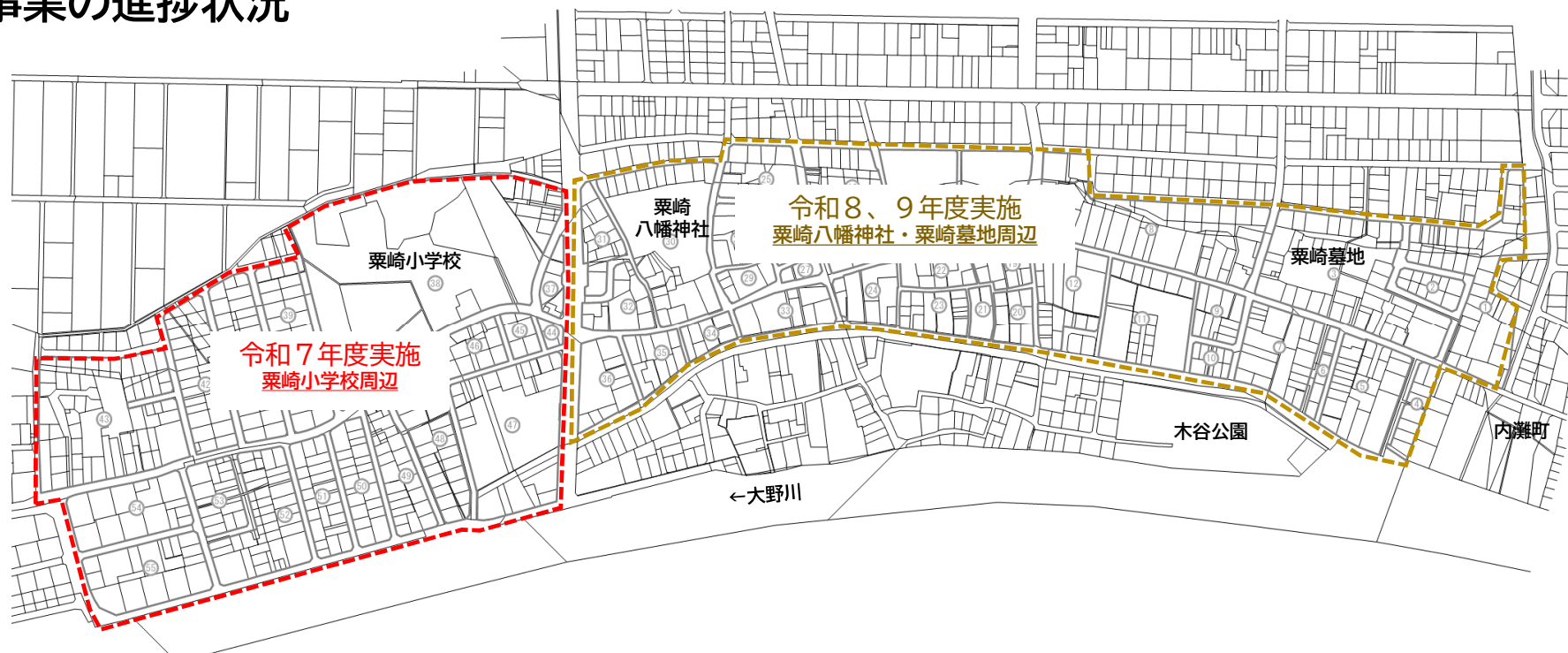


○ 目標スケジュール



エリア	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
栗崎小学校 エリア (エリア①)	□ 液状化対策工事	前倒し			事後評価		
	□ 道路・水道・下水道 復旧						
八幡宮・墓地 エリア (エリア②③)	□ 液状化対策工事			事後評価			
	□ 道路・水道・下水道 復旧						

○ 事業の進捗状況



	令和7年										令和8年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全般			★説明会										
所有者立会い				→	完了								
現況測量				→	完了								
境界復元案作成					→								
境界復元案提示							→						
確定測量									→				

※確定測量完了後、国県の認承を経て成果を法務局へ送付、登記完了

○国、県、被災自治体による土地境界問題対策PTにおいて、『土地境界再確定加速化プラン』を策定



必要な予算の確保を前提に、引き続き土地所有者など地域の協力を得て、境界再確定に向けた調査*を最短スケジュールでの完了を目指す。その後、この調査結果をもとに、土地所有者の合意を得て、最終的な土地境界再確定に向けた調整を実施する。

	R7年度		R8年度		R9年度～
	R7.4	R7.10	R8.4	R8.10	
I 工区	調査・立会・測量作業・地籍図作成		地籍認証 所有権の移転の登記		
II 工区			調査・立会・測量作業・地籍図作成		地籍認証、所有権の移転の登記

予算確保に向け、国、県と協議中

- 地籍再調査、補助制度、工事等に関するお問い合わせ、ご相談がありましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

栗崎地区復旧支援相談窓口（ものづくり会館2階）

TEL：076-208-3085

月曜日～金曜日（祝日を除く） 10：00～16：00

第1、3日曜日（予約時のみ） 10：00～12：00

金沢市危機管理課内 相談窓口（第二本庁舎2階）

TEL：076-220-2858

月曜日～金曜日（祝日を除く） 9：00～17：45